

ほすびたる

No.778

令和 7 年 5 月 20 日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

会員広報	福岡県病院協会 令和 6 年度 臨時会員総会	公益社団法人福岡県病院協会事務局	1
声	結びつきを深めて	公益社団法人福岡県病院協会 参与代理 公益社団法人福岡県歯科医師会 常務理事	小笹 竜起 5
新人物	就任のご挨拶	医療法人せいわ会みなかぜ病院 院長	梶谷 康介 6
	就任のご挨拶	医療法人健愛会健愛記念病院 院長	溝口 義人 7
病院管理	福岡大学病院 地域医療連携 センターの取り組み	福岡大学病院地域医療連携センター センター長 副センター長	平井 郁仁 志賀 悠平 8
	就任のごあいさつ	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 事務部長	畑 宏明 9
	食の危機にどう向き合うか ～令和の米騒動を通して～	医療法人原三信病院 管理栄養士	花野 絵美 10
	これからの介護人材確保と 人材育成 ～課題について考えていく～	久山療育園重症児者医療療育センター 療育指導室長	島津 洋昭 11
	日本重症心身障害福祉協会認定 重症心身障害看護師のこれから	久山療育園重症児者医療療育センター 看護部長	藤島 信也 13
	外部委託から内製化への取り組み ～時代の変化に柔軟な対応～	社会保険田川病院 事務長	宮崎 敬之 16
看護の窓	医療安全管理室の 取り組みと成果	済生会福岡総合病院 セーフティーマネージャー	高松麻由美 18
Letter	医学医療の歴史物語 その 8 ～神話の世界を医の視点 から考察（妄想）する	国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園原看護専門学校 顧問	朔 元則 20
Essay	人体旅行記 乳房（その二十七）	国立病院機構都城医療センター 院長	吉住 秀之 22
	福岡県私設病院協会 令和 7 年 3 月～4 月の動き		23
	福岡県病院協会だより		24
	編集後記	岡嶋泰一郎	29

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生方向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

病院寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテン・ベットマットのリース・洗濯
入院セット・患者私物衣類の洗濯・紙おむつ販売・給食・配茶

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

理事長 中尾 一 久

専務理事 津留 英智
理 事 江頭 啓介
理 事 松村 順
理 事 木村 寛

理 事 鬼塚 一郎
監 事 田中 圭一
監 事 横倉 義典
事務局長 日比生英一



JQA-QMA
15863



〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田1217-17
TEL(092)976-0500 FAX(092)976-2247

Clean & Comfortable

清潔さと快適さを追求します



福岡県病院協会 令和6年度臨時会員総会

◎ 公益社団法人 福岡県病院協会事務局

日 時 令和7年3月25日（火）17時
場 所 福岡県中小企業振興センター 501号室
出席会員 199名（うち委任状提出 175名）

会員公報

■ 総会成立報告

岡嶋泰一郎議長は、会員数242名に対し出席者は委任状を含め199名であり、定足数に足る会員の出席が認められたので、総会は適法に成立した旨を報告。

■ 副会長挨拶

平祐二副会長挨拶

■ 議事録署名人選出

本日の議事録署名人として、谷口修一理事及び中尾一久理事が選出された。

■ 議案審議（岡嶋議長）

○ 第1号議案「令和7年度福岡県病院協会事業計画書（案）」

壁村専務理事は、激動する医療変革の渦中にある、地域医療の普及向上と県民の健康増進に寄与することを目的として、第1項の「県民を対象とする医療に関するシンポジウムの開催」から第5項の「その他本会の目的達成に必要な事業」までを、行うべき事業として掲げ、以下のとおり説明を行った。

第1項のシンポジウムの開催では、県民の関心が高い医療に関する諸課題をテーマに取り上げ、県内4地区で持ち回り開催している。令和7年度は福岡地区での開催となり、9月27日（土）にアクロス福岡での開催を予定している。現在、岩永総務理事を中心に企画を進めている。

第2項の研修会の開催では、令和7年度から、前年度末に各委員会で次年度計画を立て、原則6月までに委員会を開催、診療報酬改定関連研修等を除き12月を目途に研修会を開催する方針とし

た。この方針に基づき、「令和7年度 研修会及び研究会開催計画書」に記載の6種類、計12回の研修会を予定している。

第3項の機関誌「ほすびたる」の発行は、昭和28年の創刊以来の伝統ある事業であり、令和7年度も6回の発行を予定している。岡嶋編集委員長を中心に、内容の充実に努めていく。

第4項の研究会の開催は、計画書に記載の2種類、計2回の研究会を予定している。

第5項を含む、5つの事業を当協会が行うべき事業として提案する。

議長は、本議案について質疑等を求めたが、特に質疑や異議の申し出等は無かったため、議場に諮ったところ、賛成多数の拍手をもって承認可決された。

○ 第2号議案「令和7年度福岡県病院協会収支予算書（案）」

伊東財務理事は、令和7年度の収支予算案について以下のとおり説明を行った。

予算書は、公益目的事業、収益等事業、法人会計の3つの事業区分に分かれている。

経常増減の部の経常収益の各項目は、基本的に令和6年度の実績を基に見積もっている。受取会費は、年額6万円の242会員分、計1,464万円を計上している。研修会参加料は、令和6年度実績と同程度の計860万円余を計上している。これらにより経常収益計は2,926万円を見込んでいる。

経常費用の各項目も、給与手当をはじめとして基本的に令和6年度の実績を基に見積もっており、経常費用計は2,921万円を見込んでいる。

以上により、経常収支の差し引きである当期経常増減額は、5万円のプラスとしている。また、

経常外増減はない。法人税等については、例年同様、法人住民税5万円を見込んでいる。これらにより、全体の収支である当期一般正味財産増減額は、収支均衡を予定している。

病院協会の財政状況は、コロナ禍後の研修受講者の減少、研修会場賃借料等物価の高騰により大変厳しいため、研修会場の見直し等により引き続き経費削減に努めていく。

最後に、資金調達及び設備投資の見込みについては、特に予定はない。

議長は、本議案について質疑等を求めたが、特

に質疑や異議の申し出等は無かったため、議場に諮ったところ、賛成多数の拍手をもって承認可決された。

■ 議案審議終了

以上をもって本日の議事が全て終了したので、岡嶋議長は閉会を宣した。

■ 総会終了

壁村専務理事から、議長に対する謝辞と閉会を開催する旨が述べられ、臨時会員総会は滞りなく終了した。

【第1号議案】

令和7年度 福岡県病院協会事業計画書

激動する医療変革の渦中であって、地域医療の普及向上と、県民の健康増進に寄与するために、次の事業を行う。

- 1 県民を対象とする医療に関するシンポジウムの開催（公1）
- 2 病院職員等医療従事者に対する専門的知識・技術の習得を目的とした研修会の開催（公2）
- 3 機関誌「ほすびたる」の発行（他1）
- 4 病院職員等に対する診療報酬制度等研究会の開催（他2）
- 5 その他本会の目的達成に必要な事業

令和7年度 研修会及び研究会開催計画表

公益社団法人 福岡県病院協会

月別	研修会等名	区分	日数	摘 要
7月	看 護 研 修 会	公 益	半 日	
	診療情報管理研究研修会 第1回グループワーク	公 益	半 日	
9月	栄 養 管 理 研 修 会	公 益	1 日	
10月	看 護 研 修 会	公 益	1 日	
	診療情報管理研究研修会	公 益	1 日	
	リハビリテーション研修会	公 益	1 日	
11月	病 院 研 修 会	公 益	半 日	

11月	診療情報管理研究研修会 第2回グループワーク	公益	半日	
12月	臨床検査研修会	公益	半日	
2月	看護研修会	公益	2日	
	診療情報管理研究研修会 第3回グループワーク	公益	半日	
	経営管理研究会	共益	半日	
3月	リハビリテーション研修会	公益	半日	
	医療事務研究会	共益	半日	

* 令和7年9月27日(土)に「第16回県民公開医療シンポジウム」をアクロス福岡（福岡市中央区天神）で開催。
* 令和7年度福岡県中小病院・診療所薬剤師研修会議、及び第52回新採用薬剤師教育研修会を福岡県病院薬剤師会との共催で開催予定。
* 「区分」 公益 → 公益目的事業 共益 → 収益事業等

【第2号議案】

令和7年度収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日

公益社団法人 福岡県病院協会

(単位：円)

事業区分 科目名	1：公益目的事業				2：収益等事業				3：法人会計	合 計		
	公 1	公 2	共通	小計	他 1	他 2	共通	小計	予算額	予算額	前年度予算	差 異
	シンポジウム	研修			機関誌	研究会						
【正味財産増減計算書】												
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益												
特定資産運用益	0	11,000	0	11,000	0	0	0	0	0	11,000	11,000	0
特定資産受取利息	0	11,000	0	11,000	0	0	0	0	0	11,000	11,000	0
				0				0		0	0	0
受取入会金	0	0	5,000	5,000	0	0	0	0	5,000	10,000	10,000	0
受取入会金	0	0	5,000	5,000	0	0	0	0	5,000	10,000	10,000	0
受取会費	0	0	5,082,000	5,082,000	0	0	2,178,000	2,178,000	7,260,000	14,520,000	14,640,000	-120,000
受取会費	0	0	5,082,000	5,082,000	0	0	2,178,000	2,178,000	7,260,000	14,520,000	14,640,000	-120,000
事業収益	1,020,000	5,663,000	0	6,683,000	1,040,000	870,000	0	1,910,000	0	8,593,000	8,537,000	56,000
研修会参加料	0	5,663,000	0	5,663,000	0	870,000	0	870,000	0	6,533,000	6,477,000	56,000
病院研修会	0	312,000	0	312,000	0	0	0	0	0	312,000	200,000	112,000
看護研修会	0	4,126,000	0	4,126,000	0	0	0	0	0	4,126,000	3,600,000	526,000
診療情報管理研究研修会	0	195,000	0	195,000	0	0	0	0	0	195,000	380,000	-185,000
栄養管理研修会	0	354,000	0	354,000	0	0	0	0	0	354,000	630,000	-276,000
臨床検査研修会	0	107,000	0	107,000	0	0	0	0	0	107,000	177,000	-70,000
リハビリテーション研修会	0	569,000	0	569,000	0	0	0	0	0	569,000	480,000	89,000
経営管理研究会	0	0	0	0	0	443,000	0	443,000	0	443,000	420,000	23,000
医療事務研究会	0	0	0	0	0	427,000	0	427,000	0	427,000	590,000	-163,000
ほすぴたる広告料	0	0	0	0	1,040,000	0	0	1,040,000	0	1,040,000	1,160,000	-120,000
プログラム広告料	1,020,000	0	0	1,020,000	0	0	0	0	0	1,020,000	900,000	120,000
受取補助金等	625,000	1,875,000	0	2,500,000	2,888,000	722,000	0	3,610,000	0	6,110,000	6,110,000	0
受取地方公共団体補助金	625,000	1,875,000	0	2,500,000	2,888,000	722,000	0	3,610,000	0	6,110,000	6,110,000	0
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000	5,000	15,000
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000	5,000	15,000
経常収益計	1,645,000	7,549,000	5,087,000	14,281,000	3,928,000	1,592,000	2,178,000	7,698,000	7,285,000	29,264,000	29,313,000	-49,000

(2) 経常費用												
事業費	3,982,000	14,434,000	0	18,416,000	4,806,000	1,189,000	0	5,995,000	0	24,411,000	24,644,000	-233,000
給料手当	2,165,000	6,447,000	0	8,612,000	1,022,000	361,000	0	1,383,000	0	9,995,000	9,700,000	295,000
臨時雇賃金			0	0			0	0	0	0	0	0
退職給付費用	227,000	675,000	0	902,000	107,000	38,000	0	145,000	0	1,047,000	765,000	282,000
福利厚生費	363,000	1,081,000	0	1,444,000	171,000	60,000	0	231,000	0	1,675,000	1,472,000	203,000
謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委員会費	42,000	759,000	0	801,000	161,000	67,000	0	228,000	0	1,029,000	1,250,000	-221,000
委員日当	0	305,000	0	305,000	0	119,000	0	119,000	0	424,000	300,000	124,000
応援者日当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	-20,000
旅費交通費	23,000	190,000	0	213,000	1,000	13,000	0	14,000	0	227,000	380,000	-153,000
通信運搬費	88,000	134,000	0	222,000	185,000	18,000	0	203,000	0	425,000	980,000	-555,000
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	38,000	227,000	0	265,000	19,000	16,000	0	35,000	0	300,000	400,000	-100,000
印刷製本費	409,000	1,036,000	0	1,445,000	2,818,000	214,000	0	3,032,000	0	4,477,000	4,432,000	45,000
光熱水料費	21,000	64,000	0	85,000	10,000	4,000	0	14,000	0	99,000	90,000	9,000
地代家賃	238,000	708,000	0	946,000	111,000	40,000	0	151,000	0	1,097,000	1,080,000	17,000
賃借料	238,000	1,145,000	0	1,383,000	0	117,000	0	117,000	0	1,500,000	1,030,000	470,000
諸謝金	83,000	850,000	0	933,000	0	105,000	0	105,000	0	1,038,000	900,000	138,000
委託費	0	495,000	0	495,000	0	0	0	0	0	495,000	1,330,000	-835,000
編集取材費	0	0	0	0	200,000	0	0	200,000	0	200,000	240,000	-40,000
雑費	47,000	318,000	0	365,000	1,000	17,000	0	18,000	0	383,000	275,000	108,000
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	4,803,000	4,803,000	4,619,000	184,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	2,033,000	2,033,000	1,968,000	65,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	213,000	213,000	155,000	58,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	341,000	341,000	300,000	41,000
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	1,301,000	1,301,000	900,000	401,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000	12,000	-7,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	215,000	215,000	300,000	-85,000
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	76,000	76,000	70,000	6,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	273,000	273,000	300,000	-27,000
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000	18,000	2,000
地代家賃	0	0	0	0	0	0	0	0	213,000	213,000	220,000	-7,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000	3,000	40,000	-37,000
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	55,000	55,000	55,000	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	266,000	-266,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	55,000	55,000	15,000	40,000
予備費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	3,982,000	14,434,000	0	18,416,000	4,806,000	1,189,000	0	5,995,000	4,803,000	29,214,000	29,263,000	-49,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-2,337,000	-6,885,000	5,087,000	-4,135,000	-878,000	403,000	2,178,000	1,703,000	2,482,000	50,000	50,000	0
評価損益等	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-2,337,000	-6,885,000	5,087,000	-4,135,000	-878,000	403,000	2,178,000	1,703,000	2,482,000	50,000	50,000	0
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用												
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	-2,696,000	-6,885,000	5,087,000	-4,135,000	-878,000	403,000	2,178,000	1,703,000	2,482,000	50,000	50,000	0
法人税、住民税及び事業税	0	0		0	0	0	0	0	50,000	50,000	50,000	0
当期一般正味財産増減額	-2,696,000	-6,885,000	5,087,000	-4,135,000	-878,000	403,000	2,178,000	1,703,000	2,482,000	0	0	0
一般正味財産期首残高												
一般正味財産期末残高												
Ⅱ 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高												
指定正味財産期末残高												
Ⅲ 正味財産期末残高												

結びつきを深めて

公益社団法人福岡県病院協会 参与代理
公益社団法人福岡県歯科医師会 常務理事

小笹 竜起

本年（令和7年）3月までNHK連続テレビ小説『おむすび』が約半年間放送され、舞台のひとつとなった私のふるさと糸島市でも大変な盛り上がりがありました。このドラマでは、橋本環奈さん演じる主人公の結が管理栄養士として活躍し、食事や栄養が患者の健康に与える影響や、医療現場で様々な職種が連携、協力する様子も描かれていました。

私たち歯科医師も、地域医療の一端を担う存在として、患者の健康を支えるために、口腔内のみならず全身状態を考慮した医療に取り組むように努力しています。口腔内の状態は、全身の健康に深く関わっており、歯科治療は、単に歯を治すことにとどまらず、全身的な健康維持・増進に貢献できることが広く知られるようになってきました。

たとえば、令和6年度の診療報酬改定において、糖尿病患者に対して歯科受診を推奨することが生活習慣病管理料の算定要件に追加されました。これは、糖尿病と歯周病が密接に関わっているからです。糖尿病患者において歯周病が悪化すると、その慢性的な炎症がインスリン抵抗性を増強させ、結果として血糖値の上昇を招きます。また、逆に糖尿病が悪化することで歯周病が進行し、両者は相互に悪影響を及ぼす悪循環の関係にあります。したがって、糖尿病患者にとっては、歯科での定期的な治療が血糖値のコントロールにも極めて重要です。

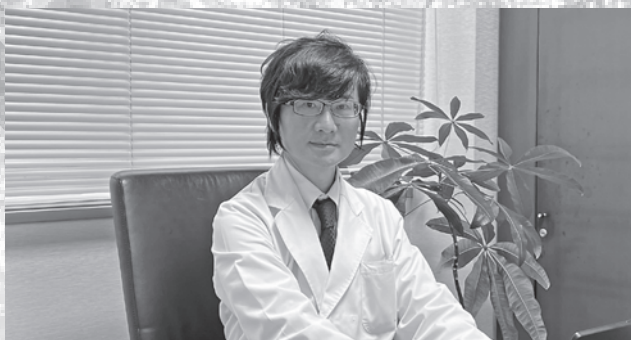
さらに、歯周病が心疾患や脳血管障害のリスクを高めることも明らかになっています。口腔内の歯周病菌が血流によって全身に広がるのが原因です。このため、心臓や脳血管に持病のある方では特に定期的なメンテナンスで歯周病をコントロールし、口腔内を清潔に維持することが大事になります。妊婦においても歯周病の影響で早産や

低体重児の出産リスクが高まることがわかっています。妊婦はホルモンバランスの変化によって、一時的に歯周病が悪化することもあるため、妊婦健診を含め、妊娠中の歯科受診が母子ともに大切です。

病院での治療において、入院中の患者はしっかりと食事を取り、健康を取り戻す必要がありますが、口腔内に問題のある場合には、食事が困難となる事も考えられます。たとえ入れ歯であったとしても、普段から調整をして、しっかり食事ができる状態にいることは早期の健康回復にも関係してきます。特に高齢者の場合では、誤嚥性肺炎を引き起こすことがあるため、入院中の歯科専門職の関与は、回復を促進するだけでなく、合併症の予防にも重要となります。

退院後も継続的な歯科治療や口腔ケアは重要ですが、定期的な通院が困難となることもあります。そこで、福岡県歯科医師会では、令和2年度から、地域の歯科医師会に口腔管理推進室を設置し、現在では県内13の二次保健医療圏すべてに配置しています。歯科衛生士が口腔に関する相談に対応するとともに、かかりつけ歯科医を持たない方には退院後も適切な管理を受けられる歯科診療所を紹介しています。地域の診療所はもちろん、がん診療連携拠点病院や地域支援病院等とも連携し、口腔健康管理を行っています。

口腔内の疾患とはいえ、全身状態との関係から、歯科関係者の努力だけでは解決が難しいことも多く存在します。広く、医療従事者の皆様のご理解ご協力を得て様々な問題を解決し、患者さんが健康を取り戻せるよう努力をしたいところです。そのために、医療従事者の皆様との結びつきをさらに深めたいと思っています。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



就任のご挨拶

医療法人せいわ会
みなかぜ病院

院長 梶谷 康介

令和6年8月より医療法人せいわ会みなかぜ病院の院長職を拝命いたしました梶谷康介と申します。院長就任は大変光栄であると同時に、精神科地域医療を支えるという重責を強く感じております。まずは私の略歴と、新院長としての抱負をお伝えさせていただきます。

私は歴史・文化・自然が豊かな島根県松江市で生まれ育ちました。お国自慢になりますが、夕暮れの松江は特に美しく、燃えるような夕日に照らされた宍道湖、黄昏に浮かび上がる国宝松江城はとても幻想的です。

1999年に九州大学医学部を卒業後、同大学の精神病態医学（精神科）に入局し、2006年に医学博士を取得しました。その後、カナダのダルハウジー大学で精神薬理学を学び、帰国後は福岡市内の病院で臨床経験を積みました。2014年からは九州大学で准教授として大学生や教職員のメンタルヘルス支援に従事し、2022年4月からみなかぜ病院で副院長として勤務しはじめ、2024年8月より現職を務めています。これまでの大学病院、民間病院、海外留学での経験は私にとってかけがえのない財産であり、今の診療に活かされています。

私の院長としての抱負は「患者中心の医療」の実現です。精神科医療では患者さんの症状に加え、生活環境や人間関係も重要な要素です。そのため、標準化された治療法が必ずしも奏功するわけではなく、患者さん一人ひとりに合った個別化医療の提供こそが重要だと思います。医療スタッフ全員が患者さんに寄り添い、積極的にコミュニ

ケーションを取ることが回復への第一歩になると考えております。

また、精神科医療においては地域社会との連携が欠かせません。特に社会的入院の問題は医療だけでは解決することが難しく、退院後に患者さんが地域で安定して生活を送る為には、ご家族や地域住民の理解、福祉・行政との協働が不可欠です。当院では昨年11月から精神科特化型の訪問看護ステーションを新たに立ち上げました。患者さんへのアウトリーチ支援を強化するとともに、地域社会との連携を一層深めたいと考えております。

病院運営においては、医療の質とスタッフの働きやすさの両立を重視しています。当院は日本医療機能評価機構の病院機能評価を受け、2024年には3回目の認定を取得しました。外部機関からの評価を受けることで、医療の質をさらに高めてまいります。

精神科医療は目に見えない「心の病」に長期間向き合うため、他科にはない独特の難しさがあります。しかし、患者さんが回復し、自らの生活を取り戻す姿を見ることは、私たち医療従事者にとって大きな喜びです。

当院の理念である「患者さんとともに」には、患者さんが病から回復し、社会復帰する喜びをご本人やご家族とともに分かち合いたいという思いが込められております。

新院長として地域に信頼され患者さんやそのご家族にとって安心できる病院づくりに全力を尽くしてまいります。

就任のご挨拶

医療法人健愛会
健愛記念病院

院長 溝口 義人



新人物

私は、遠賀郡遠賀町にある 健愛記念病院で院長をしております、溝口義人と申します。地域に根ざした、きめの細かい医療を目指して開業したのが1991年、今から34年前のこと。長きにわたり、地域に寄り添った病院として歩んできました。

開業当時の遠賀町の救急医療は、病院が集中する北九州市に全面的に頼っている状況でした。そこで、三次救急医療まで、地域で担える医療機関が必要ではないかと考え、高齢化が進む地域の変化に合わせた、病院の在り方を模索しながら、その仕組みを作ることに全力で取り組んできました。

その一方で、かかりつけ医として信頼される医師・信頼される医療の提供を行うことも重要と考え、地域住民の理解と信頼を得るために、日々の診療にまい進してきました。

高齢者救急医療と、高齢者が安心して通える病院づくりという2つを軸に、高齢化が進む地域のニーズに応えるための医療を提供できる仕組みが、形になってきたと実感しています。

私自身の専門は、心臓外科・呼吸器外科・消化器外科で、今まで主に、癌治療に携わり、その治療の選択肢として、高気圧酸素療法や温熱療法を取り入れてきました。当院には、高気圧酸素治療台と温熱治療台を1台ずつ備えています。大学病院にて放射線治療を行ったのちに、当院にて高気圧酸素療法と温熱療法を行います。それぞれの治療法を組み合わせることにより、総合医療を提

供、新たな治療の可能性を探ってきました。また、抗生剤や循環改善薬と高気圧酸素治療との組み合わせにより、多くの循環疾患への治療も試みています。腸閉塞・糖尿病壊疽、褥瘡においては、一定の効果をえています。

開業当時のもう1つの軸は、今後直面する超高齢化社会に向けて、医療・看護・介護の連携の実現でした。現在では、病院敷地内に、3つの介護施設を併設し、その中で、「訪問看護ステーション」「グループホームきもりの家」「介護付き有料老人ホーム シルバーケアきもり」「ディサービスきもり」「ショートステイきもり」「介護老人保健施設 すずらん」という事業所を開業しています。法人全体として、医療・看護・介護・福祉、それぞれの分野が互いに連携を図り、在宅医療とも連動しながら、総合的に患者様を「診る」というシステムが整いつつあります。

今後やってくる超高齢化社会において、1番重要なのは、まさに、医療・看護・介護・福祉の連携。本誌への寄稿の機会をいただいたおかげで、開業当時から長年、目指してきたことが間違いではなかったとあらためて確信しているところです。地域に根ざした、地域住民の為の病院でありたいという信念を変わず持ち続け、今後も医療と向き合っていきたいと思います。

福岡大学病院 地域医療連携センターの取り組み

福岡大学病院地域医療連携センター センター長 平井 郁仁

副センター長 志賀 悠平

少子高齢化や人口減少により地域全体で住民の健康を支えるニーズがより高まっています。福岡大学病院は「特定機能病院」または「急性期病院」として、高度先進医療の提供と急性期や重症疾患の診断や治療を行う重要な役割があります。かかりつけ医や福祉施設など、回復期・慢性期など病床機能が異なる医療機関との機能的役割分担を行い、多くの住民にとってより適切な診療を受けていただく環境を整備し、診療の円滑化および「地域で完結できる医療体制」を目的とした医療連携の推進に取り組んでいます。また、運営の円滑化のためにクラウドサービスの活用などのデジタル運用で、正確かつ迅速な患者サービスを行っています。

当センターは、2004年5月に地域連携室として運営を開始し、2014年4月からは地域医療連携センターに名称を改め、患者をご紹介いただく医療機関との協力体制の充実、連携の強化を更に進めています。その取り組みの一つが「連携医療機関登録制度」です。現在の連携登録施設数は700施設を超え、多くの医療機関に当院の情報を発信するとともに、診療への理解をいただきながら、地域の医療機関と良好な関係の構築に努めています。

「顔の見える連携」のため地域医療連携の会を毎年開催し、貴重な情報交換の場として多くの皆様にご参加いただいております。令和6年度は10月に開催し、400名を超える医療関係者の方々に参加いただきました。

福岡市医師会、城南区医師会の後援をいただ

き、「福岡大学病院メディカルセミナー」を、糸島医師会の後援をいただき「糸島医師会・福岡大学病院学術講演会」を定期的で開催し、当院の最新の治療について地域の先生方へ知っていただく機会としております。

また、退院や転院、治療継続のために、患者やそのご家族が抱える問題に対する相談・支援の充実に努めております。業務を遂行するために、当センターでは紹介がスムーズに連携できるよう関係各所に連絡や調整を行う「前方支援」、当院での治療など診療を終えた患者様の退院や転院の支援「後方支援」、及び医療に関する困りごと心配事を相談する「医療相談窓口」を配置しています。これらの業務において、医師や看護師のみならず、薬剤師、医療社会福祉士、管理栄養士、事務など多職種で対応し支える仕組みを構築しています。また、在留の方を含む外国人の方が適切な医療を円滑に受けられるよう医療通訳等の支援に関する業務も行っています。

2023年3月27日より地下鉄七隈線が博多駅まで延伸しました。『バリチカ！福大』のキャッチコピーのもと、博多区など福岡東部の病院やクリニックに表敬訪問、また、SNS（ソーシャル・ネットワーク）などでの広報活動を展開し、より地域に親しまれる病院になるよう努めています。

今後、デジタル社会の発達により地域はより広域となり、様々な連携はより簡潔で迅速にオンラインで結ばれていくことになります。地域の先生方と当院をつなぐツールとしてDX

(デジタルトランスフォーメーション)を積極的に取り入れ、よりスムーズな連携を図ることができるよう努めてまいります。これらの

サポートが多くの方にあたたく温もりのある地域医療になるよう貢献していきます。



福岡大学病院
地域医療連携センター

病院管理

就任のごあいさつ

国家公務員共済組合連合会
浜の町病院 事務部長

畑 宏明

この度、令和6年4月1日付けを持ちまして浜の町病院の事務部長に就任しました畑（ハタ）宏明と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、出身地である佐世保共済病院に事務部長として2016年より3年間勤務した後、2019年に横須賀共済病院に転勤となりました。横須賀共済病院で5年間勤務しました。そして、2024年4月より当院に赴任することとなりました。

5年ぶりの九州帰還です。福岡市で生活するのは初めてなのですが、福岡市は世間一般に広く言われているように、九州の政治、経済、文化、ファッションの中心として賑わうエネルギーギッシュな街であり、美しい山と海に囲まれ、住みやすい都市として注目されており、非常に



魅力的な街のイメージです。魅力的な福岡の街をこれから少しずつ探索していくことを、休日の楽しみのひとつとして過ごしていこうかと思います。

浜の町病院は、1951年に開設された聖福病院附属浜の町診療所として浜の町（現在の舞鶴3丁目5番地）にて産声をあげました。同診

療所は、終戦直後から大陸の地で「罹災民救済病院」を開設したり、引上げ中の列車や船舶の中で移動医療局として医療活動を行ったり、帰国後には引き揚げ者の治療にあたるなど、非常に尊い活動をしてきた、歴史のある医療機関です。その後、1952年に聖福病院から独立し福岡浜の町病院と改称しました。現在の地（福岡市中央区長浜3丁目）には、2013年に新築移転しています。

当院の常勤医師・歯科医師数は160名、看護師・助産師数524名（いずれも令和7年4月現在）です。一般病床468床（ICU4床、HCU12床、手術室9室、無菌室41床、透析室32床）を有し、健康管理センターを併設しています。標榜科は36診療科で、血液内科や産婦人科を中心に各診療科の医師の数も多く、総合的病院として満遍なく全ての疾患に対応しているというのが浜の町病院の一番の特徴です。当院は、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病

院、災害拠点病院等、数多くの指定を受けており、当地域で高度急性期を中心とした急性期機能を担い、地域の医療機関や施設と連携し適切な医療を提供する圏域の拠点病院です。

当院が立地する福岡・糸島医療圏は、2035年までは人口が増加する見込みで、併せて急速に高齢化が進行すると言われています。そのため、将来にわたり患者さん及びその家族、地域住民の皆さまが安心・安全に生活することができる医療の提供が不可欠となります。

「病める人の身になって、心のこもった最良の医療を目指します」の病院理念のもと、急性期の総合的病院として幅広い疾患に対応できる当院の診療機能を十分に発揮することにより、今まで以上に地域の皆さまに信頼される病院となりますように、当院の発展のために尽力していく所存ですので、どうか今後ともご指導ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

病院管理

食の危機にどう向き合うか ～令和の米騒動を通して～

医療法人原三信病院
管理栄養士

花野 絵美

近年、日本国内で「令和の米騒動」と呼ばれる事態が発生し、米の価格が高騰しています。

この騒動の背景には、異常気象による収穫量の減少、農業政策の影響、さらにはコロナの収束に伴い外食産業や観光業の回復によって、米の需要が急増したことも価格上昇の一因となっています。

このような状況下で、当院でも深刻な事態に直面しました。長く取引を続けていた米屋に米

の供給が途絶えてしまい、突如として取引終了の申し出を受けることとなったのです。当院では1日約700食を提供しており、安定した食材の確保は必要不可欠です。また、入院患者の栄養バランスを維持するためにも、エネルギー源である米は欠かせない食材です。

困り果てた我々は、近隣病院の栄養科へ相談しました。これまで連絡を交わす機会はほとんどなかったにも関わらず、現在の取引業者や仕

入金額など情報共有していただき、新たな仕入れ先の手がかりを得ることができました。このような事から、今後も情報交換を重ねながら病院間の連携を図っていく必要性を感じました。

また、価格高騰は病院の食材予算にも大きな影響を及ぼします。限られた予算の中で、患者様の健康を維持する食事を提供するには、パンや麺などの代替食品の検討に加え、今後の価格高騰を見越したメニューの工夫や、食品ロスの削減、委託業者との契約条件の見直しなどが求められます。

加えて、備蓄体制についても検討が必要です。病院は地震や台風、感染症の流行といった有事のみならず、今回の米不足のように平常時の混乱においても、その機能を継続しなければなり

ません。これまでの備蓄食は、短期的な災害時対応を想定したものでしたが、今後はそれに加え、物流の停滞や慢性的な供給不足といった事態にも対応できるよう、備蓄食の内容や管理体制の再構築をしていくことが求められます。

今後も米に限らず、異常気象による野菜の供給不足・鳥インフルエンザによる卵の価格高騰などによる食材コストの増大や、燃料代の高沸による物流の問題など、食に関する危機が懸念されます。このような状況を乗り越えるためには、柔軟な対応と創意工夫が不可欠です。

これからも患者様の健康を最優先に考えつつ、安定した食材の調達方法を模索し、病院間での情報網の構築を行い、健康回復を支える食事の提供を目指していきたいと思います。

病院管理

これからの介護人材確保と人材育成 ～課題について考えていく～

久山療育園重症児者医療療育センター 療育指導室長 島津 洋昭

人材の確保については、以前より 2025 年問題として大きく取り上げられていました。

団塊の世代に生まれたすべての人が後期高齢者に達し、社会保障費（医療・介護）の負担増や人手不足、人材不足が深刻化される問題の事です。また、少子高齢化により若手の人材不足も考えられ、新たな人材を確保するのが難しい状況にあります。介護職の視点でみると、厚生労働省が出している、「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」の中で

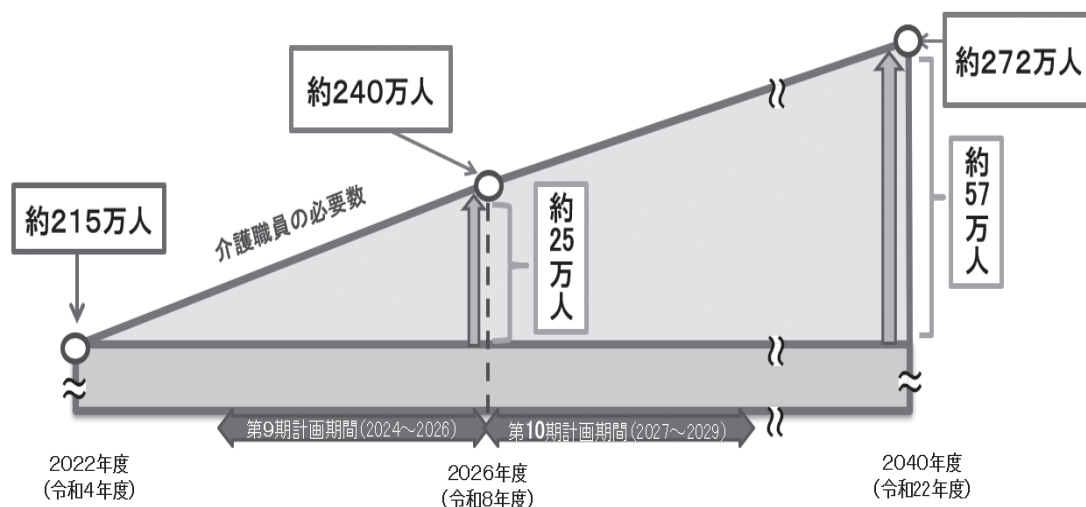
- ・ 2026 年度には約 240 万人（+約 25 万人〔6.3 万人/年〕）
- ・ 2040 年度には約 272 万人（+約 57 万人〔3.2 万

人/年〕）

の介護職員を確保する必要があると推計されています。

どの職種においても、人材の確保は難しいのが現状ですが、医療入所施設のような 24 時間継続して支援が必要な場所においては、不規則な交代勤務もあり、通常よりも人の確保が難しいのが現状です。その中において、人は非常に重要な役割、存在であると考えます。

現在、久山療育園では 90 名の重症心身障害児者（以下、重症児者）が生活をされています。入所されている方々の平均年齢も 40 代後半になり、高齢化や医療必要度の増加に伴い、以前



※参考資料：厚生労働省資料

「第9期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について(令和6年7月12日)」

よりもより丁寧な支援や医療が必要になってきているのが現状です。その中において「核」となる人材不足は非常に大きな問題であり課題であると言えます。また、介護福祉士の養成校においては入学者が減少傾向であり、ほとんどの養成校で外国人人材の受け入れを行っているのが現状です。そのような状況の中で、新卒の確保においては非常に難しい問題であると考えます。

昨年度取り組んだ人材確保に向けた取り組みを報告させていただきます。まずは、多様な人材の確保です。今までのようにフルタイムの職員採用に向けては今後も取り組む必要がありますが、家事や育児の隙間時間に働けるパート職員の確保やアクティブシニアの活用というところに目を向けました。それぞれの家庭の状態や状況に応じて、こちら側が工夫して働く人材の確保に向けて取り組む必要があると考えます。働く側の要望に出来るだけ応じ、1日数時間からのパート職員に目を向け、有効に活用できるように現場職員と調整しながら工夫を検討しています。また、アクティブシニアの活用として、シルバー人材センターと連携し、間接業務の職員確保にも取り組みました。もう一つの方法としては外国人人材の活用についてです。先を見据えた人材確保の一つの方法として特定技能で

の受け入れを現在進行形で動いています。まずは働いている職員が、どのように協働していいのか等について検討を重ねています。様々な課題は予測できますが、まずは受け入れを行っていきながら、問題や課題を明確にしていきたいと考えています。

基本的な考え方としては、まずは働く職員(人)がいなければ、サービスの提供は出来ないという事を念頭に置いて継続して取り組みを深めていきます。

もう一つの課題は、人材育成です。人が「辞めない」職場環境づくりを目指して様々な工夫に取り組んでいきたいと考えます。採用した職員が長く働いてくれることは職場にとって大きなメリットがあります。働いている職員同士の人間関係も良く、スタッフ個々がスキルアップにも積極的に長く働き続けてくれる環境を目指し、重症児者に常に良質なサービスを提供できる体制を目指しています。

以前に上司より、『「人材」は「人財」であり、組織の財産として価値がある。介護職員の雇用が厳しい状況にある現在、離職を防ぎ、介護スタッフの持つ能力を発揮することのできる組織の「人財」となるように、自分たちが人材育成のための「仕組み作り」を行うことが何より大切である』と教えてもらいました。具体的に

は、キャリアパスの確立を行い、キャリアアップに向けて内外部の研修に参加できるように促進していきます。現場においては、それぞれの家庭環境や状況に合わせた多様な働き方の提案やライフワークバランスに応じた勤務の調整などを、現場職員と話をしながら、重症児者の支援が円滑に回り、より QOL の向上に向けた支援ができるように日々推進していきたいと思えます。

育成内容については、様々な具体的な内容や取り組みはありますが、人材確保と人材育成は両方ともに大切であり、確保した人材をいかに

定着させていくかという事が継続した支援の提供にもつながっていくと考えます。そのような同じ思いを持った職員を確保するためにも人材育成が必要であるとともに、法人の理念の継承にもつながり、良いサイクルが生まれてくるのではないかと考えます。これからの時代において、重症児者を支援していく上でのこれらの課題を踏まえて、常にアンテナを広げ福祉の情報をキャッチし、様々な方法を模索していきながら、新しいことにチャレンジ（挑戦）していける年にしていきたいと考えます。

病院管理

日本重症心身障害福祉協会認定 重症心身障害看護師のこれから

久山療育園重症児者医療療育センター 看護部長 藤島 信也

はじめに

私は福岡県久山町の久山療育園重症児者医療療育センター（以下、久山療育園）で看護部長として勤務しています。久山療育園は肢体不自由など重度の身体障害や、知的障害（精神遅滞）を重複し、更に行動障害やてんかん発作を合併している、重症心身障害児者（以下、重症児者）と呼ばれる方達が生活している施設です。重症児者は法律上では、「身体的・精神的障害が重複し、かつ、それぞれの障害が重度である児童および満十八歳以上の者」と定義されています。施設で生活する利用者は食事、排泄、移動などの日常生活における援助を必要としています。また、てんかんによる発作や知的障害が原

因の問題行動を起こす可能性があるため、日常的な看護が求められます。そのため、児童福祉法によって設置されてはいるものの、医療的な側面を強く持つ施設です。実際、重症心身障害児者施設（以下、重症児者施設）は医療法による病院としての扱いも受けています。障害の程度は利用者によって異なるため、すべての人に日常的な医療的ケアを実施するわけではありません。年齢についても様々で、児童から高齢の方まで幅広い年齢層の方達が利用しています。この重症心身障害児者施設で 2024 年から看護部を統括する立場となりました。また、もう一つの立場として日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害看護師（以下、福祉協会認定看護師）としての立場として現在も活動を続けています。福祉協会認定看護師という立場は、今か

ら10年前に重症児者看護に難しさを感じ、日々の知見を言語化し自分以外の人に伝えていきたいという思いで研修会を受講しました。今回は二つの立場から考える福祉協会認定看護師の今後について報告します。

重症心身障害児者の看護

重症児者施設の看護は、日常生活上（食事・排泄・移動）での援助がメインです。しかしその一方で、重症児者の病態や身体的な特徴により呼吸や嚥下に障害がある利用者も多く、人工呼吸器・経管栄養の管理、吸引、吸入なども行います。また、内臓疾患を持っていて、腎臓の機能が弱く、尿量を確保する処置を受けている利用者や糖尿病で血糖コントロールが必要な利用者もいます。呼吸ケアだけでなく、嚥下に関するケアなど、全身に関係したケアが必要です。またリハビリや褥瘡対策なども行いますので、幅広い医療知識や看護知識、看護技術が要求されます。

重症児者を看護する上で大事な事は、まず、重症児者は意思の疎通が難しい事から、発するサインを見逃さず、そのサインの意味を考える事です。そのサインから、いつも、との違いに、いち早く気づき対応できる事が求められます。次に重症児者の家族は心の葛藤や負い目、様々な思いがあるので、家族との対話は重要で、繰り返す必要があります。その中で家族の思いに耳を傾け、家族・本人にとって良い看護を考える必要があります。最後に、日々の気づきや振り返りを言語化し、自分以外の人達にも共有し、更に最善を追求し語り紡ぐ事が重要と考えます。どのような看護にとっても、患者さんの個別性を考える事は大切ですが重症児者は、もともととの障害に、他の病気が絡み合い、更に様々な背景（年齢、家族との関係など）があるので、特に個別性を重視した看護が求められます。

日本重症心身障害福祉協会 認定重症心身障害看護師

福祉協会認定看護師の認定制度は公益社団法人日本重症心身障害福祉協会によって重症心身障害の看護分野において、水準の高い看護実践のできる看護師を育成し看護の質の向上を図る目的で2011年より開始されました。専門性・個別性の高い看護を実践する事や看護・療育スタッフに対し教育的支援を行う事、重症児者を取り巻く課題に積極的に取り組む事などが求められています。全国7地区に認定教育機関があって、現在までに680名程の看護師が認定されています。当センターでは、福祉協会認定看護師として私を含め3名が活動しています。看護学校、看護大学への講義。施設内の研修の企画、実践現場の指導など主に施設内外の教育的支援を行っています。また、九州地区の教育機関の事務局として福祉協会認定看護師の育成に運営側としての役割を担っています。

福祉協会認定看護師の継続学習は公益社団法人日本重症心身障害福祉協会が1年に1回、フォローアップ研修を開催し講演会、福祉協会認定看護師の活動報告会を行う事で学習・情報共有の場になっています。その研修以外でも各地区で福祉協会認定看護師が集まり、自己研鑽に努めています。九州地区も九州地区研究会という名称で60名程が所属し福祉協会認定看護師として知識の向上、情報交換、連携強化に努めています。

福祉協会認定看護師は年々、更新しない方達が多くなっています。理由として多いのは、福祉協会認定看護師として活動ができず、更新に必要なポイントが取れない事が挙げられます。福祉協会認定看護師として、どのような活動をしていくか定まっていない事が原因で、何をを目指すのか自分のイメージと施設側の思惑を事前に話し合う必要があると思います。また、活動

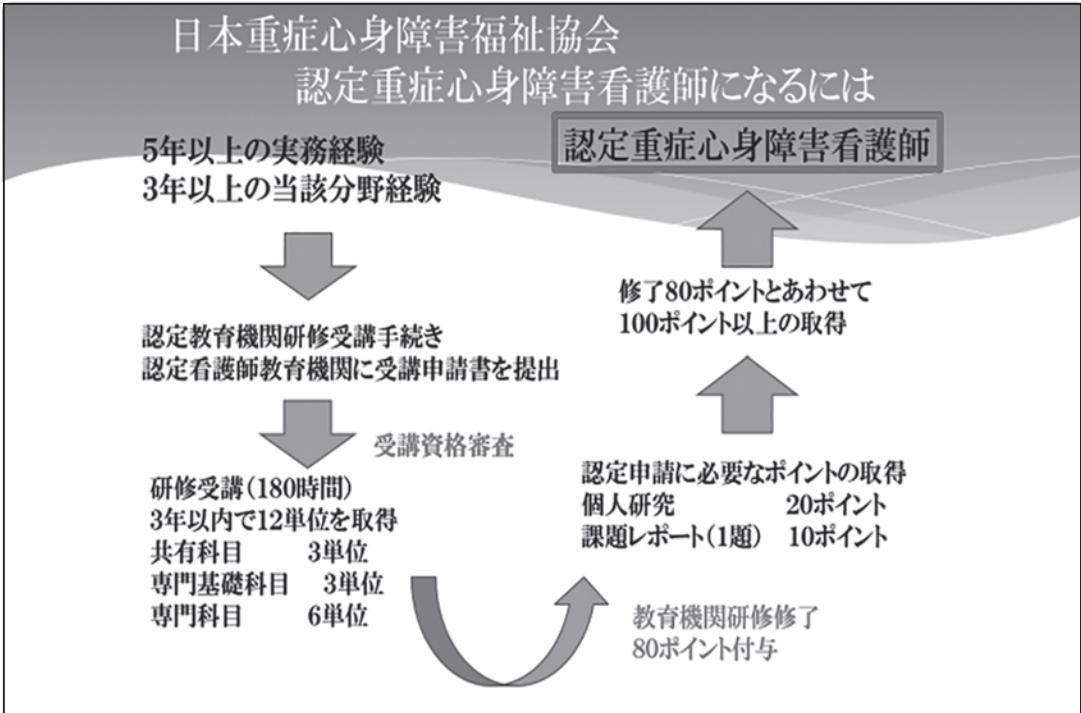
ができない理由として、業務が多忙という事が報告されています。福祉協会認定看護師の活動は、日常業務との兼務なので、時間の確保が難しくなっています。また主任、師長、部長を兼任している事も多くなっていて、活動できる環境を作る施設側の配慮が求められます。当センターにおいても福祉協会認定看護師の育成が進んでいない現状があります。この認定制度が、ただ業務の負担が増える資格というのではなく、看護師のキャリア形成の手段、選択肢の一つとなるように、福祉協会認定看護師の役割・環境をこれまで以上に整える必要があります。

最後に

重症児者施設の看護師は、向き不向きが分かれる仕事かもしれません。重症児者施設では看護師は利用者の日常生活を援助しつつ、医療行為をして、利用者が少しでも快適に楽に生活できるようにケアをします。しかし、重症児者施設では病院のように「元気になって退院する」

という事はほとんどありません。重症児者施設での看護は、基本的に現状維持が目標です。病院のように回復することはありません。また、利用者と意志の疎通を取るのが難しい事がほとんどです。そのため、「患者さんが元気になる所を見るとやりがいを感じる」とか「患者さんからありがとうと言われるとやりがいを感じる」というタイプの看護師は、重症児者施設では、あまりやりがいを感じないかもしれません。

だからこそ高い倫理観と広い専門知識と技術を習得した福祉協会認定看護師は、その知識と技術で、重症児者が笑顔になったり、リラックスできたり、家族が少しでも楽に感じる事に貢献できれば、やりがいを感じる事ができるし、その体験・気づきを他の看護師と語り合う事ができます。その語りを通して重症児者看護の魅力をとくさんの看護師に感じてほしいと思っています。そのような役割を期待して今後も福祉協会認定看護師の育成に取り組んでいきたいと考えています。



外部委託から内製化への取り組み ～時代の変化に柔軟な対応～

社会保険田川病院
事務長

宮崎 敬之

【経 緯】

1998年、病院の増改築工事の竣工に合わせて、病院方針として業務の効率化および少人化（コスト削減、生産性向上、専門業務の外部委託による社内リソースの有効活用）を目的に、コア業務以外の職種の外部委託が進められました。

これにより、中央材料室、洗濯業務、医療事務、清掃業務が本格的に外部委託化され、その後も物品管理（SPD）、保安警備、設備管理

（EC）、電話交換業務が新たに委託化となりました。また、厨房業務については外部委託を今後検討するとして、2011年に当初の目的を達成しました。

【環境変化】

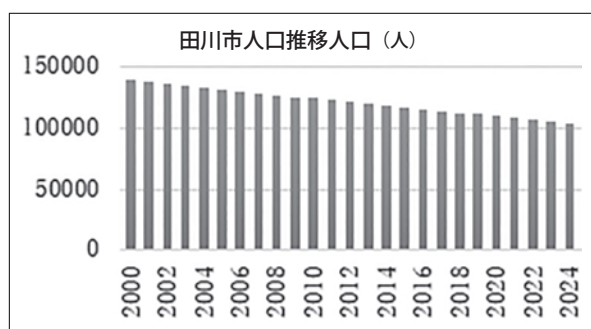
福岡県内でも先進的に人口減少と高齢化が進む田川地域においては、看護職やコメディカルスタッフの人手不足が深刻な課題となっている中で、外部委託を行っている職種については、委託業者の努力により、ビルメンテナンス業（清掃、保安警備、設備管理など）においても、一定のコストと人員が維持されてきました。スタッフの高齢化に伴うサービス品質の低下といった課題はあるものの、業務は概ね安定して継続されていました。

しかし、2019年末からの新型コロナウイルス感染症の拡大に加え、毎年引き上げられる最低賃金の影響を受け、契約更新時の交渉が難航するケースや、人手不足の深刻化といった新たな問題が顕著になりました。

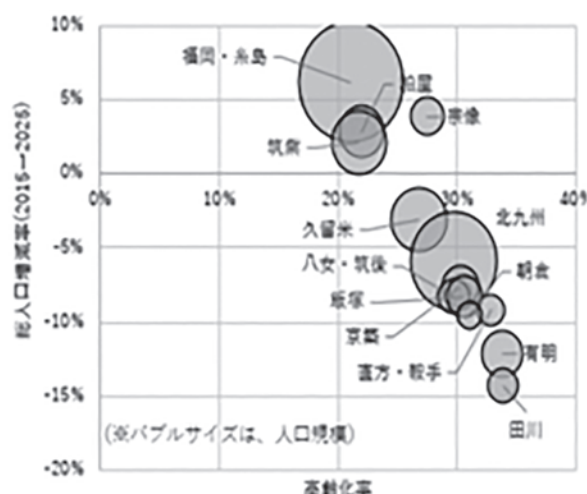
【問 題】

- ① 契約金額の高騰
- ② 契約交渉にかかる時間的負担の増加
- ③ 人手不足による業務の不履行発生
- ④ 人材の高齢化や不足によるサービス品質の低下

福岡県人口推移グラフ



高齢化と人口減少



【問題解決】

内製化を検討した背景と対応の経緯

競合見積もりを取得することで、問題①である契約金額の抑制は一定程度可能と考えられましたが、地域性を踏まえると現行スタッフのスライド（そのままの移行）となる可能性が高く、抜本的な解決にはつながらないと判断しました。そのため、内製化を選択肢の一つとし、以下のような利点から有力な解決策として位置付けました。

- 地域特性や人材に応じた柔軟な給与設定が可能となり、求める人材の確保がしやすくなる
- 契約上の業務範囲に縛られず、職種間のタスクシフトが柔軟に行えるため、業務効率化が図れる

しかしながら、これまで病院運営に貢献していただいた外部委託業者との関係は、win-winの協力関係で築かれてきた経緯がありました。そのため、まずは契約更新を最優先とし、上記の4つの課題解決に向けた交渉を重ねました。

協議の中では、たとえば契約価格を引き上げたとしても、地域特性による人材の高齢化や不足の影響により、サービスの質的改善は難しいの

ではないかという論点が浮上しました。複数回にわたる協議の結果、妥結に至らない場合には内製化への移行方針を説明し、相手方の理解と了承を得た上で、現行スタッフに対して病院側への移籍を募る事としました。

内製化が必ずしも“正解”であるとは考えていません。しかし、どこよりも早く人口減少と高齢化の波を迎えた当院においては、「時代の変化に柔軟に対応する力」が強く求められています。加えて、外部委託先においても、スタッフの高齢化に伴う雇用責任の重さに悩まれている現状が見えてきました。そうした背景から、今回の内製化は、病院側と委託業者側の双方にとって一定の納得を得られる形、つまりある意味での“win-win”な関係となったと感じています。今年度内製化へ移行した清掃業務では、スタッフの平均年齢が75歳と非常に高く、これを機に退職を検討していた方々にも、もうしばらく力を貸していただけないかとお願いしている状況です。そのため、今後はマルチスタッフ化や清掃ロボットの導入を早急に進める必要があります。都市部とは異なる事情があるとはいえ、田川地域だけが特別な環境にあるとは思っておらず、同様の課題は他地域にも広がっていく可能性があると考え、本稿を執筆いたしました。

外注委託から内製化状況				
	変 更	【課題】 ①コスト削減 ②迅速な意思決定 ③担当責任者の明確化 ④機械化や人材育成	残った課題	達成目標
設備管理	2020年4月	①②③ 済	④マルチスタッフ化 清掃・警備・設備管理	2026年4月完了予定
安全警備	2020年6月	①②③④ 済	④マルチスタッフ化 清掃・警備・設備管理	
医療事務	2022年11月	①②③④ 済		
電話交換	2022年11月	①②③④ 済	ローテーションの構築	2026年7月完了予定
SPD	2024年6月	①②③④ 済		
清掃	2025年4月	①②③ 済	④マルチスタッフ化 清掃・警備・設備管理	2026年4月完了予定

看護 の窓

医療安全管理室の取り組みと成果

済生会福岡総合病院
セーフティーマネージャー 高松 麻由美

当院は 369 床の高度急性期病院であり、24 時間安心して受診していただける病院として安全で質の高い医療の提供を目指しています。

筆者は医療安全管理室でセーフティーマネージャーとして勤務しています。

2024 年度は医療安全の質向上を目的とし、病院全体ではインシデントレポートの提出促進、看護部では特に転倒・転落防止策や、モニターアラーム対策に取り組みました。



医療安全管理室専従看護師（右が筆者）

1 インシデントレポート報告の促進

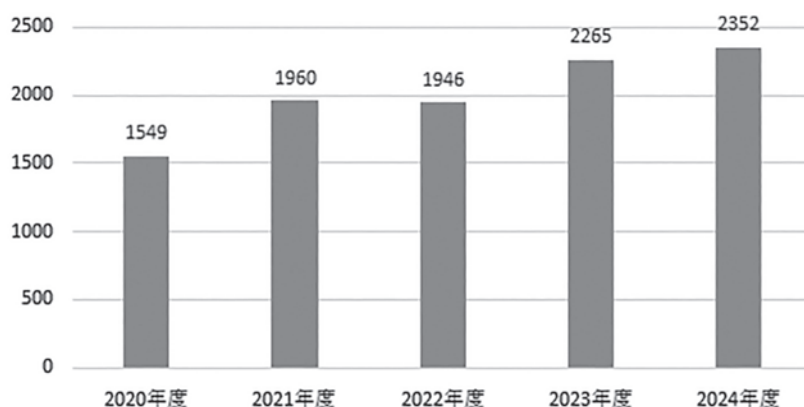
医療現場の安全管理を強化するには、インシデントレポートの報告が不可欠です。報告数は病床数の 5 倍、そのうち医師からの報告が 1 割であることが望ましいといわれています。当院の職員数は約 1000 名（医師 150 名、看護師 500 名）であり、2023 年度以降 2000 件を超える報告数となっています（表 1）。しかし、報告の 88% を看護師が占めており、医師や他職種からの自発的な報告が少ない現状です。これを改善するため、インシデントレポートの重要性を継続的に伝えるとともに、当事者の所属長

へ積極的にコミュニケーションを図り、レポート作成を支援してもらうよう働きかけを行いました。今後は研修医へレポート提出を促すため、報告状況を定期的に可視化するなどし、軽微なレベルでの事象や対策を共有して重大事故を防止する活動を推し進めていきたいと思っています。また、電子カルテの更新も控えており、報告しやすいシステムの見直しを検討しております。

2 転倒・転落防止対策

患者の転倒・転落防止に向け、全病棟へ衝撃吸収マットを増備しました。導入当初は利用率

表 1 インシデントレポート報告件数（2020～2024）



が低く、使用しない理由等を看護師対象にアンケート調査を行いました。その結果、使用方法を十分に理解していないことがわかり、正しく使用できるよう教育を行いました。このようにアクシデントを未然に防ぐため積極的に使用するようスタッフ指導を強化し、予防策の徹底を図りました。

また転倒・転落アセスメントシートを活用し、入力された情報が具体的な対策につながっているか評価し、各部署へフィードバックを行いました。更に、転倒・転落後のカンファレンスを必ず実施するようにした結果、昨年度に比べ骨折事例は減少しました。今後はさらに個別性のある対応を強化し、再発防止に向けた改善策を進めることで、より安全な環境作りに努めていきたいと考えます。

3 モニターアラームの適切な運用

心電図モニターアラームの適切な管理も医療安全において重要な課題です。半年に一度業者

へモニターアラームのデータ解析を依頼し、その結果を全病棟へフィードバックしました。データに基づき各部署で現状を把握し、不要なアラームが鳴らず、且つ患者の状態変化を適切に察知できるような対策を検討しました。

この情報共有のプロセスを通じて、スタッフの認識を向上させるとともに、具体的な改善策を講じることができました。今後も看護部の課題として継続して状況把握と対策の強化を進める予定です。

ま と め

2024年度の医療安全活動は、インシデントレポートの提出促進、転倒・転落防止策、モニターアラームの適切な運用という3つの柱を中心に取り組みました。これらの取り組みを通じて、安全文化を定着させ、スタッフ間の意識を高め、より安全な医療環境を構築することが出来ました。今後もさらなる改善を目指し、継続的な取り組みを進めていきます。



一番大切な思いやり…
「安心・安全・清潔」

TAIYO 太陽セランドグループ
太陽セランドホールディングス株式会社
〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5
TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200
TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 **中島 健介**

 医療関連
サービスマーク認定
太陽セランドグループ会社
太陽セランドホールディングス株式会社 太陽セランド株式会社 太陽シルバーサービス株式会社 ジャパンエアマット株式会社 株式会社北九州シーアイシー研究所

お問い合わせ TEL 0947-44-1847 Mail info@taiyoseland.co.jp Web <http://www.taiyoseland.co.jp>

医学医療の歴史物語

その8 ～神話の世界を医の視点から考察(妄想)する

国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元 則
学校法人原学園看護専門学校 顧問

はじめに

本年1月号の「Letter」を読んでいただいた読者の皆様や、2月17日に開催された第43回日本医史学会福岡地方会での私の発表を聞いていただいた会員の方々から、アスクレピオスをはじめとするギリシャ神話の神々やメドゥーサの物語について様々な御質問を頂戴した。拙文(講)に御興味をもっていただき大変嬉しく思っている。

今更改めて申し上げるまでもないことであるが、私のギリシャ神話や旧約聖書に関する知識は、「泰西名画を楽しく鑑賞したい…」という単純な動機に由来するものである。専門的に勉強した経験は全くない an aging surgeon の独断と偏見に満ちた内容に終始すること必定であるが、今月の「Letter」も医の視点から考察(妄想)した神話の世界について語らせていただきたい。

病をテーマにした神話がない

今回神話について語るために改めて手許にある書物を再読した。『ギリシャ・ローマ神話辞典』や『神話伝承辞典』(いずれも大修館書店刊)という神話に関する辞典類、ブルフィンチ著、野上弥生子訳の『ギリシャ・ローマ神話』(岩波書店刊)、山本七平著の『聖書の常識』(講談社刊)等の神話について総括した書籍類、あるいは医の立場から神話を論じた河合隼雄著の『神話の心理学』等々の単行本である。

そこで初めて気が付いたことであるが、ギリシャ神話や旧約聖書には(記紀神話でも)、外傷や熱傷等の急性疾患以外の慢性病や老化について語られた部分が極めて少ない(皆無という表現を使っても良いかと考えている)ということである。

ギリシャ神話は男女の交合(それも神と人間、あるいは母子間の)や殺人事件(生まれた赤ん坊を呑み込んだり、父親殺しをしたり)がメインの物語群と極言してもおかしくない内容ばかりであるし、旧約聖書がユダヤ民族の歴史書ということは万人が認めているところである。

ギリシャ神話や旧約聖書が語っている時代は、ヒトは簡単な病気ですぐ死亡していたであろうし、平均寿命も40歳には達していなかったと考えられる。従って「慢性疾患や老化について語る場がなかった」と解釈するのが一番妥当な結論ではないかと私は考えているのだが、それで間違いないのであろうか？

スフィンクスの謎かけ問答

^{あまた}数多あるギリシャ神話の物語の中でも、大変有名なのが、後にギリシャ悲劇の代表作ともなったオイディプスの物語である。波乱万丈のオイディプスの生涯を詳細に語るだけの紙幅の余裕はないが、その中に登場するスフィンクスとオイディプスの謎かけ問答の中に、人類最初の医療機器、医の原点が述べられているという考えはどうであらうか？

スフィンクス(ギリシャ神話ではスピックス)は古代エジプトではファラオの顔とライオンの下半身を持つ王家のシンボルとも言える聖獣であるが、ギリシャ神話では女性の顔と乳房のある胸、背中に鷲の翼を持つ怪物として描かれている。

スフィンクス(スピックス)はテーバイの国(オイディプスによって殺された父親ライオス王が治めていた国で、彼の死後は妃のイオカステとイオカステの弟クレオンが治めていた)の人々に、「一つの声を有しながら、四足、二足、三足になるも

のは何か？」と問いかけ、回答できなかった人々を喰い殺していたのである。多数の国民がスピックスに喰い殺されてしまったテーバイの国王クレオンは「スピックスとの謎かけ問答に勝利した人物には、王国と先王の妃イオカステを与える」との布告を出してしまったのである。

放浪の旅の途中にテーバイに立ち寄ったオイディプスはこのスピックスとの謎かけ問答に挑戦し、「それは人間である」と即答した。「人間は赤子の時は這い歩き、成人して二本足歩行、老人になると杖を使用するから…」というのがその理由である。大変有名な話で、日本では子供達でも知っている謎かけ問答である。

私はここに登場する「杖」に大きな意味を感じるのである。ここに登場する杖は完全な歩行補助器である。人類最初の医療機器は「杖」という考えはどうであろうか？

神が宿る杖

本年1月号の「Letter」に書いた内容と重複するが、ここで改めてギリシャ神話における杖について、前述の謎かけ問答とは全く別の見方について言及しておかねばならない。

医の神様アスクレピオス（Asklepios）と、商業の神様でかつゼウスの伝令役でもあったヘルメス（Hermēs）のアトリビュートである「蛇が絡みついた杖」は、オイディプスの物語で語られた杖と全く違って、「生命力と神の権威の象徴」と考えるべきであろう。そこには「杖は歩行のための補助医療用具というような考えは微塵もない」と断言しても良いと私は考えている。

この考え方は旧約聖書に登場する預言者モーセ（Moses, Mosheh）が持つ杖に就いて考えるとよく理解できると私は思っている。旧約聖書の出エジプト記（BC1250年頃の歴史的事実に基づく話と考えられている）にある「モーセが杖を高く掲げ紅海に向かって手を差し伸べると、海は真っ二つに分かれ、イスラエルの民は海の中に出現した乾いた道を通ることが出来た…（出エジプト記12：16）」という有名な一節は、「モーセの杖には神が宿っていた」という当時の考えを具現化した

ものにほかならないと私は考えている。「杖はヒトが最初に手にした武器であったため、そこに神性が求められた」という考え方はどうであろう？

「世界の三大杖は？」と問えば「アスクレピオス、ヘルメス、そしてモーセの杖」という回答が返ってくると思う。この三つの杖にはいずれも神が宿っていた。そしてその原点は古代エジプトの智慧の神トートが持つ^{しゃくじょう}錫杖に求めるべきではないだろうか？

エディプス・コンプレックス

ギリシャ神話を医の視点で考察する以上、精神分析学の父とも呼称される有名な精神分析学者フロイト（Sigmund Freud, 1856-1939）が提唱したエディプス・コンプレックスについて言及しておかねばならない。

フロイトは上述のオイディプスの物語から、エディプス・コンプレックスという概念を提唱したのである。それは「男の子は無意識のうちに母親に愛着を持ち、父親に対して敵意を持つ」という概念である。精神科医でもない私がそれ以上エディプス・コンプレックスについて論じるのは差し控えておくが、御興味のある方は精神分析学の教科書をお読みいただきたい。

おわりに

神話の世界を、従来の視点からではなく、医の視点から考察してみた。ここで紹介した物語については、すべてこれまでに出版された文献に準拠しているが、考察については全く私の独断的考え方である。^{へきろん}僻論と断じられても仕方がないと思っているが、御笑覧いただければ幸いである。

ギリシャ文明が後世の西洋文明の礎となったことは皆様よく御存知のことである。医学用語の多くもギリシャ語にその礎を置いている。その事については本「Letter」では一言も言及する余裕がなかったが、畏友木村専太郎クリニック理事長が2009年（平成21年）に『ギリシャ・ローマ神話に隠された医学用語』と題する大変立派な単行本を梓書院から発刊しておられる。御興味のある方は是非ご参照いただきたい。

人体旅行記 乳房（その二十七）

国立病院機構都城医療センター 院長 吉住 秀之

今回は三島由紀夫に登場してもらいましたが、今回は国語の授業でも習うノーベル文学賞作家川端康成に語ってもらいましょう。彼の小説『眠れる美女』（1960）という作品¹⁾では、睡眠薬で深昏睡状態にさせられた裸の女性の傍らで一晩添い寝をさせるといふ妖しげな店が舞台となっています。そこへ幾晩も通い詰めることになる江口老人は客の一人として、裸の娘の傍に添い寝しつつ思いに耽ります。

娘の乳房の形は美しいようである。しかし老人は人間の女の乳房の形だけがあらゆる動物のうちで、長い歴史を経るうちに、なぜ美しい形になって来たのだろうか、あらぬことを考えたりした。女の乳房を美しくして来たことは、人間の歴史のかがやかしい栄光ではないのだろうか。

江口老人の人間の乳房の美についての疑問にどう答えましょうか。哲学者カントの『判断力批判』によれば美の理想は、「自己の実存の目的を自己自身のうちに持つ者」である人間にとって「客観的合目的性の概念によって確定された美」でなければなりません。ヘーゲルは『美学』において人間の口や手を、単なる生命維持に資する目的に限定されたものにとどまらない理念を体現したものとしているので、乳房にもそうした崇高な美が宿っていることとなります。

生物学の立場から言うと、客観的合目的性や崇高さを認識する人間の眼差しには進化が設えた仕組みが組み込まれています。直立歩行をするようになった人類の女性が自らの性的魅力を男性に示す上で、脂肪を沈着させ膨隆するようになった乳房が有利な形質となったことから、その進化（江口老人のいう「かがやかしい栄光」の歴史）が始まったと言え

るでしょう。その性選択が続くことで、男性は自ずと女性の乳房の形を美しいと感じるようになったのでしょうか²⁾。

上に引用した『眠れる美女』は、1967年刊の新潮文庫からですが、これには巻末に三島由紀夫の解説が付されています。彼はこの作品を評して、「熟れすぎた果実の腐臭に似た芳香を放つデカダンス文学の逸品である」と絶賛しています。乳房がいきなり金閣寺になるという突拍子もない幻想を描いた三島も、ネクロフィリア的な耽美趣味に浸る川端も、女性が進化的に獲得した形質の蠱惑的罠にみごとに嵌まってしまっています。とは言え、動物の延長でありながらも人間は、そのつながりを自ら切断して「文明化」することでセクシュアリティという幻想を生み出すとともに自分では決して手に入れることができないものとしてセクシュアリティを追い求めていく宿命を背負（わされてしま）いました。死すべき人間として江口老人が求めていたのも到達不可能な乳房の美であったと言えるでしょう。言語という象徴的コードを操ることができるようになった人類は、この乳房という形質の性的魅力を芸術の分野で思う存分表現（昇華）することでミーム（文化的自己複製子）として定着させてきました。この活動が続く限り、乳房への憧憬や妄想も子孫へ脈々と引き継がれていくことでしょう。

- 1) ちくま文庫には『教科書で読む名作 伊豆の踊子・禽獣ほか』という川端康成のアンソロジーがありますが、この作品はさすがに収載されていません。でも文学性はこの作品の方が断然高いと思います。
- 2) Marlowe F. (1998) The nubility hypothesis: The human breast as an honest signal of residual reproductive value. Hum Nat; 3: 263-271.263-271

◎ 3月研修会〈参加数 96名〉

日 時 3月8日（土）午後4時

〈電気ビル地下2階 8号カンファレンス〉

演 題 病院運営における諸問題 ―新たな地域医療
構想 等―

講 師 （公社）全日本病院協会 会長
（医財）寿康会 理事長 猪口 雄二 氏

◎ 令和6年度 第12回理事会

日 時 3月11日（火）午後4時〈会議室〉

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 会員異動について
 - (2) 研修会について
 - (3) 地域医療構想について
 - (4) 第11回（令和7年度）定時総会について
 - (5) 令和7年度事業計画（案）について
 - (6) 令和7年度予算（案）について
 - (7) 事務長会・看護部長会運営委員会委員の変更について
 - (8) 令和7年度「福私病ニュース」の表題について
 - (9) 令和6年度厚生労働省補正予算「病床適正化支援事業」に係る事業計画（活用意向調査）について
3. 報告事項
 - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校 (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病・日慢協・日医法人協、他連絡 (5) その他

◎ 事務長会運営委員会

日 時 3月27日（木）午後3時〈会議室〉

1. 協議事項
 - (1) 看護職員の残業削減、業務効率化の取組みについて
 - (2) 令和7年度の協議事項について
 - (3) 令和6年度の振返りにについて
2. 報告事項

◎ 看護部長会運営委員会

日 時 4月4日（金）午後3時〈会議室〉

1. 協議事項
 - (1) 高齢者、認知症患者のケア（認知症患者の社会的入院への対応の充実を含む高齢者虐待、倫理的問題）について
 - (2) 身体拘束ゼロへの取り組み（効果的研修、実施している研修内容、スタッフの意識改革等）について（「言葉の拘束」「スピーチロック」等）
2. 報告事項

◎ 広報委員会

日 時 4月8日（火）午後3時45分〈事務室〉

議 題 1. 福私病ニュースの編集について

◎ 令和7年度 第1回理事会

日 時 4月8日（火）午後4時〈会議室〉

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 会員異動について
 - (2) 研修会について
 - (3) 地域医療構想について
 - (4) 第12回定時総会について
 - (5) 令和6年度福私病ニュースの表題について
 - (6) その他
3. 報告事項
 - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校 (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病・日慢協・日医法人協、他連絡 (5) その他

◎ 4月研修会〈参加数 110名〉

日 時 令和7年4月18日（土）午後4時

〈エルガーラ7階中ホール〉

演 題 「医療政策の課題と展望」

講 師 厚生労働省 保険局 医療課
課長 林 修一郎 氏

第96回 理事会報告

日 時 令和7年3月25日(火)16:30～16:58

場 所 福岡県中小企業振興センター 501号室
(福岡市博多区吉塚本町9-15)

出席者(敬称略)

副会長 平、野村

理 事 壁村専務理事、岩永総務理事、伊東財務理事、中房企画理事、岩崎、大村、志波、谷口(修)、津留、中尾、本村、山下、横倉、渡邊

計16名(理事総数22名)

監 事 野村、楠原

議 長 岡嶋

副議長 樋口

顧 問 河野、一宮

I 行政等からの通知文書

壁村専務理事から、特に報告等を要するものはないとの報告があった。

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 第9回病院研修会

壁村委員長から、報告があった。

日 時 令和7年3月4日(火)

18:00～20:15

会 場 九州大学医学部百年講堂1階
大ホール

申込者 93名

テーマ 「医療従事者の人材確保
ー現状と課題そして対策ー」

総合司会 公益社団法人福岡県病院協会
専務理事 壁村 哲平

I 基調報告

(1) 「福岡県の医師・看護職員の確保

策について」

講師 福岡県保健医療介護部

医療指導課 医師・看護職員

確保対策室長 甲斐 庸恭^{つねやす}

座長 公益社団法人福岡県病院協会

専務理事 壁村 哲平

(2) 「薬剤師、MSW等医療関係職種の 現状と課題」

公益社団法人福岡県病院協会

専務理事 壁村 哲平

II シンポジウム

「病院における先進的な取組の紹介」

(1) 「医師だけにしかできない仕事に 専念できる環境作り ～当院にお ける診療看護師(NP)の活躍～」 社会医療法人財団白十字会白十字 病院 病院長 渕野 泰秀

(2) 「特定行為看護室設置に至った背 景とその成果」

済生会福岡総合病院 副看護部長/
特定行為看護師 三山 麻弓

(3) 「“病棟医/病院総合医”の育成と 活用をめざして」

福岡県済生会二日市病院
副院長 門上 俊明

(4) 「救急領域における病院救命士の 有効活用について」

北九州市立八幡病院
名誉院長 伊藤 重彦

質疑応答

座長 地域医療機能推進機構(JCHO)
九州病院 院長 内山 明彦
済生会福岡総合病院
看護部長 大嶋 由紀

イ 第65回診療情報管理研究研修会

岩崎担当理事から、報告があった。

日 時 令和7年3月10日(月)

13:00～17:00

場 所 九州大学医学部百年講堂

申込者 54 名

テーマ 「医療 DX を考える診療情報」

講演 1 「医師・病院管理者からみた診療
情報管理士への期待」

株式会社麻生飯塚病院

院長 本村 健太

講演 2 「3 文書 6 情報からの医療 DX」

九州大学病院

病院長特任補佐 西山 謙

シンポジウム

「医療 DX へのとりかかり

～活用事例から考える～」

社会医療法人シマダ嶋田病院

診療支援部 部長 今村 知美

医療法人原三信病院 企画情報室

システム管理課 課長 平原 俊吾

社会医療法人財団白十字会

白十字病院 医療情報本部

システム開発室 主任 村上 真一

医療法人順和長尾病院 診療情報

管理室 主任 深見 知子

質疑応答

ウ 第 21 回リハビリテーション研修会

横倉担当理事から、報告があった

日 時 令和 7 年 3 月 15 日 (土)

13:55～16:00 (受付 13:30～)

場 所 ナースプラザ福岡 研修ホール

申込者 1 121 名

テーマ 「リハビリテーション・栄養管理
及び口腔管理の連携・推進をい
かに進めるか ～各病院・地域
での取り組み」

シンポジウム

講演 1 「リハビリテーション・栄養・
口腔の三位一体における管理

栄養士の役割」

産業医科大学若松病院

管理栄養士 鈴木 達郎

講演 2 「急性病院における多職種連携
の取り組みの実際 ～歯科の
立場から～」

九州大学病院医療技術部歯科

衛生室 歯科衛生士 萱野 綾華

講演 3 「急性期のリハビリテーション
の栄養」

飯塚病院 理学療法士 白土 健吾

講演 4 「リハビリ・栄養・口腔連携体
制加算の現状報告 ～作業療
法士の評価視点について」

医療法人八女発心会姫野病院

作業療法士 甲木 芳親

講演 5 「急性期病院における言語聴覚
士の取り組み」

戸畑リハビリテーション病院

言語聴覚士 大森 政美

質疑応答

エ 第 172 回看護研修会

中房担当理事から、報告があった

日 時 令和 7 年 3 月 17 日 (月)

10:00～15:30

3 月 18 日 (火) 9:00～16:30

場 所 九州大学医学部百年講堂

大ホール

参加者 209 名

テーマ 認知症（認知症看護実践力向上
研修）（診療報酬加算対象）研修内容：認知症の原因疾患と病態・治
療／入院中の認知症患者に対す
る看護に必要なアセスメントと
援助技術／コミュニケーション
の方法及び療養環境の調整方法
／行動・心理症状 (BPSD)／認知

症に特有な倫理的課題と意思決定支援／在宅に向けた看護・介護連携、退院支援など

Ⅲ 収益目的事業、法人関係

1 報告事項

(1) 種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア ほすびたる編集委員会

岡嶋編集委員長から、報告があった

日 時 令和7年3月11日(火)17:40

場 所 福岡県医師会館2F事務局

(ほすびたる編集委員会はハイブリッド)

議 題

1. 3月号発刊について
2. 5月号、7月号の編集計画について
3. 令和7年度寄稿依頼について

イ 第124回医療事務研究会

伊東担当理事から、報告があった。

日 時 令和7年3月14日(金)

13:30～16:10

会 場 九州大学医学部百年講堂

大ホール

申込者 83名

テーマⅠ

「人工知能はレセプトチェックの救主！」

講演1 「北九州市立八幡病院の医療DXの取り組み ～AIレセチェッカー導入報告」

講師 北九州市立八幡病院

経営企画課長 木戸 啓介

講演2 「福岡和白病院の医療DXの取り組み ～レセプトAIチェック～」

講師 福岡和白病院

医事課長 光永 篤史

テーマⅡ 「審査」

講演 「最新の審査方法とこれからの審査基準 ～審査の広域化とAIの導入、国保との審査基準の統一化～」

講師 社会保険診療報酬支払基金

審査委員会審査調整役

高木 誠一郎

質疑応答

(2) 第95回理事会議事録(案)について

壁村専務理事から、中村会長、野村・楠原両監事の下承をもらっているとの説明があり、承認された。

(3) 2月収支報告について

伊東財務理事から、報告があった。

2 協議事項

(1) 臨時会員総会の議案書について

- ・令和7年度福岡県病院協会事業計画書(案)
 - ・令和7年度福岡県病院協会収支予算書(案)
- 壁村専務理事から令和7年度事業計画書(案)について、また、伊東財務理事から令和7年度収支予算書(案)及び資金調達及び設備投資の見込みがないことの説明が行われ、承認された。

3 行事予定

壁村専務理事から、説明があった。

(1) 令和7年4月

ア 五役会

日 時 令和7年4月8日(火)18:00～

場 所 福岡県医師会館事務局

イ 看護委員会

日 時 令和7年4月28日(月)15:00～

場 所 未定

場 所 福岡県中小企業振興センター
501 号室

ウ 監査

日 時 令和 7 年 4 月 30 日 (水) 15 : 00 ~

場 所 福岡県病院協会事務局

(3) 令和 7 年 6 月

ア 五役会

日 時 令和 7 年 6 月 10 日 (火) 18 : 00 ~

場 所 福岡県医師会館事務局

(2) 令和 7 年 5 月

ア ほすびたる編集委員会・五役会

日 時 令和 7 年 5 月 12 日 (月)

① 17 : 45 ~ ほすびたる編集委員会

② 18 : 00 ~ 五役会

場 所 福岡県医師会館事務局 (ほすび
たる編集委員会はハイブリッド)

イ 第 98 回理事会・定時会員総会

日 時 令和 7 年 6 月 24 日 (火)

① 16 : 30 ~ 第 98 回理事会

② 17 : 00 ~ 定時会員総会

※定時会員総会後に、懇親会

場 所 ANA クラウンプラザホテル (予定)
(福岡市博多区博多駅前 3 丁目 3 番 3 号)

イ 第 97 回理事会

日 時 令和 7 年 5 月 27 日 (火) 16 : 00 ~

医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サ
ー
ビ
ス
内
容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房器械等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで
九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F
TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F
TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632



故 今泉暢登志先生を偲んで



本会顧問としてご貢献いただきました今泉暢登志先生（医療法人済世会相談役）が、令和7年3月27日に享年87歳でご逝去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表します。

先生は昭和38年九州大学医学部を卒業後第一外科に入局され、福岡赤十字病院院長や九州大学臨床教授を務められ、中央では日本病院協会副会長や全国公私病院連盟会長などを歴任されました。そのご活躍に対し2017年春の叙勲において瑞宝小綬章を授章されています。

当会では2002年に理事に、2005年より4年間企画理事に就任され、2008年からは長きにわたり顧問をお務め頂きました。顧問在任中も、ほぼすべての理事会や会員総会、参与との懇談会にご参加頂き、多くのご助言やご指導を賜りました。

去る1月には、四県病院協会連絡協議会にもご出席いただいたところでした。

今泉先生のご厚情とご指導に深く感謝し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

福岡県病院協会 専務理事 壁村 哲平



編集後記

ほすぴたる 778 号をお届けします。

4 月に入って、春になったと思えば、電が降ったり、夏日になったりと、不安定な天候が続きました。会員の皆様方におかれましては、体調管理に難渋されたことでしょう。そのような中、今回の“ほすぴたる”にも、皆様より素晴らしい原稿をお送りいただきました。著者の方々に、心より御礼を申し上げます。

さて、この編集後記を書いている時、大変感動的なニュースがテレビから流れてきました。425 年前（1600 年）の今日、4 月 19 日、オランダの商船「リーフデ号」が、長い航海の末、大分県の臼杵湾にたどりつき、そのことがきっかけとなり、日本とオランダの交流が始まりました。臼杵市では、毎年、そのことに感謝

するとともに、航海中に亡くなった 80 名あまりの乗組員を追悼する式典を行なっています。生き残った乗組員の中に、のちに「三浦按針」と名乗り、徳川家康の外交顧問を勤めて、歴史に名を残したウィリアム・アダムスがいました。地元で航海士を目指す、海洋科学高校 3 年の村上京太郎さんが、先人たちの勇気と行動力を称え、参加者たちが献花をおこないました（NHK ニュース 福岡）。

世界が分断され、不穏な空気が広がる中、とても心温まるお話でした。「ほすぴたる」も、いつまでも読む人の心の中に生き続けていく雑誌でありたいと思っています。

（岡嶋泰一郎 記）

ほすぴたる

第 778 号

令和 7 年 5 月 20 日発行

発行 ◎ (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号
福岡県メディカルセンタービル 2F
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313
E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp
URL <http://www.f-kenbyou.jp>

編集人 ◎ (公社)福岡県病院協会

制作 ◎ (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1
麻生ハウス 3F
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095
E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…中村 雅史

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…平 祐二

編集委員…壁村 哲平・岩永 知秋

中房 祐司・伊東 裕幸

横倉 義典・大嶋 由紀

第173回看護研修会（Web開催）のご案内

（配信後オンデマンド配信）

配信期間・時間

セミナー配信 令和7年6月27日（金）13：25～15：45

オンデマンド配信 令和7年6月28日（土）～令和7年7月7日（月）

※セミナー終了後にオンデマンド配信しますのでご都合の良い時間、繰り返し視聴することができます。

開催方法 Web配信 ZOOMを利用

オンデマンド配信はセミナー終了後：オンデマンド視聴用URLをお送りさせていただきます。

受講料 会員病院 一人につき 3,000円（テキスト代は含まない）

会員外病院 一人につき 4,500円（テキスト代は含まない）

※当日の資料は開催前にお送りしますURL送信時にGoogleにアップロードしますので、各自ダウンロードをお願いします。

対象者 看護師

- 参加申込
- ① 病院協会ホームページ<http://www.f-kenbyou.jp>「研修情報」より参加申込を受付します。
「病院名／施設名」、「所在地」、「電話番号」、「配信メールアドレス」、「氏名」、「ふりがな」、「職種」をご記入をお願いします。
 - ② 参加にあたり事前登録が必要になりますので参加申込書に記載していただきました。
Web配信アドレスを登録させていただきます。
 - ③ 参加申込受付完了(登録完了)のメールをお送りします。
 - ④ 参加料払込の確認後、開催前日に研修会URLをメールアドレスに送信します。
(メール内の「ここからクリックして参加」をクリック)
 - ⑤ 登録メールの締め切り(参加申込締切)は令和7年6月6日(金)
※受講料は振り込みをしていただきます。受講申し込み後、払込取扱票(受講番号記載のもの)を送付しますので、病院名・氏名・連絡先をご記入の上、6月13日(金)までに指定の口座にお振込をお願いします。なお、振り込まれた受講料は返金できません。

I 「現場力を高める組織マネジメント」……………13：30～15：30

（質疑応答）15：30～15：45

第1章：組織力を高める最重要課題とは

第2章：心理的安全性の高い組織のつくり方

第3章：現場のエンゲージメントを3倍にするフィードバックの秘訣

終りに：振り返りと行動プラン

講師：ポテンシャルビジョン代表 山本 武史

著書／『「やめたくない看護部」のつくり方』（メヂカルフレンド社）

『仕事がうまくいく！絶対的な「1日」の習慣』（明日香出版社）など

【質問、質問の仕方について】

質問は入室開始13時10分～15時までチャットにて受付します。

病院名・お名前をご記入の上、質問時間内に送信して下さい。

今回は会話での質問は受付しておりません。